

【北海道】石狩川流域自治体による豪雨災害対策職員研修が実施されました。

平成30年度石狩川流域圏会議 豪雨災害対策職員研修の概要

目的: 豪雨災害発生時における職員の対応能力の向上と豪雨災害対策のエキスパートの養成

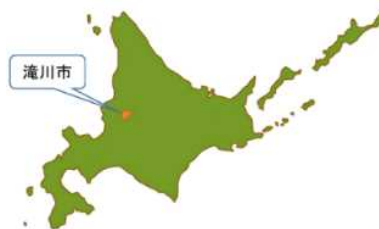
実施日: 平成30年7月30日～31日

主催: 石狩川流域圏会議※(事務局: 滝川市)

実施場所: 滝川市役所、滝川西高等学校(PC活用研修のみ)

参加機関: 流域33市町村、開発局、気象台、道職員 計76名

実施内容: 講義、PCを利用した演習、危機管理演習 等



※石狩川流域の全46市町村長が一堂に会して意見交換する会議で、流域の総合的な発展に資することを目的にH23年に設立

平成30年度石狩川流域圏会議 豪雨災害対策職員研修の実施状況



前田滝川市長挨拶



防災に関する講義



PCを利用した演習



危機管理演習

参加者の声

- ・災害の実体験に基づく話など、今後の職務に大いに役立てることができると感じた。
- ・国や道との連携を含め、市での対応を再考する機会となった。
- ・PCを利用した防災情報の収集・活用について、今後活用していきたい。